

活動方針

1. 一丸となって、参議院選挙・各級選挙を勝ち抜く

この夏、第27回参議院議員通常選挙が執行される。衆議院における少数与党となった今、わが党が引き続き国民を守る責任を果たしていくためには、この政治決戦の勝利が最重要課題である。また、本年は、今後8市町で首長選挙、3市町で議員選挙が予定されている。衆議院にあっては、常在戦場である。党内外の意見に真摯に耳を傾け、党員・党友・党組織が一丸となり、必勝へ向けてまい進する。

2. 各級選挙必勝のため、強固な組織を構築する

党勢回復を組織活動の柱として、党員獲得運動を粘り強く展開する。支部長未決定の衆議院選挙区支部においては、党本部、地元公職者と連携の上、新たな支部長の早期選定を図る。次期統一地方選挙に向けて、県議選の空白区や増員可能な選挙区に新人候補者の擁立、名古屋市議選の定数5以上の選挙区における2人目の擁立、さらには前回議席を失った選挙区において、さらなる議席の確保を目指す。地域支部による新人候補者選定が困難な場合は、公募による選考も検討する。各級選挙の必勝に向けて、地域支部が中心となり、足腰の強い組織を構築していく。

3. 政調活動と広報活動を強力に推進する

新たな時代をけん引する愛知の発展を目指し、政調活動では政策懇談会や地域連絡会議等を通じて自治体や友好団体との関係強化を推進する。また、地域に立脚した政策の実現に取り組むとともに、政策課題に関する情報共有と認識の一致を図る。広報活動では、県民とともに歩み、さらに愛される愛知とするため、HPや街頭活動を展開することにより、新しい党のイメージや魅力を発信していく。

4. 次代を担う人材の発掘・育成を図る

青年局・青年部・学生部は、ファーストペンギンとしての真価を最大限発揮すべく活動を展開するとともに、挑戦を続ける。女性局は、女性党員、過去最多となった県連所属の女性議員とともに、わが党の政策周知や女性の政治参画推進に取り組む。県連主催の政治塾「愛知政治大学院」では、わが党への理解を広げ、地域に根差す有為な人材の発掘・育成を図る。